

特別管理産業廃棄物処理計画書

大原発第37号

平成29年 5月 1日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県大飯郡おおい町大島1字吉見1-1

氏名 関西電力株式会社 大飯発電所
 所長 吉田 裕彦



(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-77-3512

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

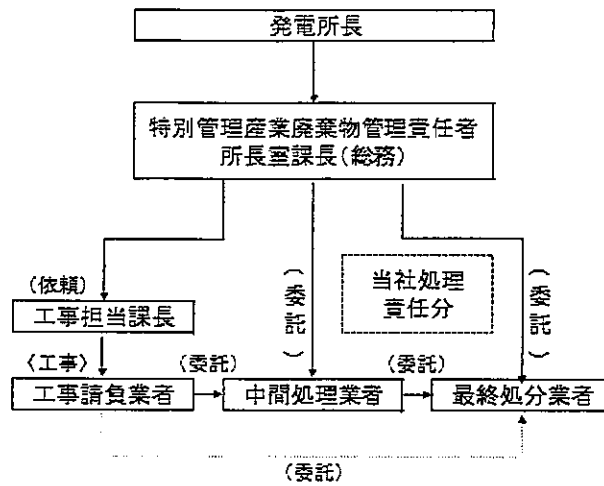
事業場の名称	関西電力株式会社 大飯発電所
事業場の所在地	福井県大飯郡おおい町大島1字吉見1-1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3年31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	F33 (電気業)
②事業の規模	大飯発電所 1～4号機 総出力 471万kW
③従業員数	503人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>発生した産業廃棄物は、「自家処理」または「委託処理」のいずれかにより処分する。</p> <pre> graph LR A[産業廃棄物発生] -- "(自家処理)" --> B[中間処理(焼却他)] A -- "(委託処理)" --> C[構内仮置き] B --> D[再生] C --> E[運搬業者引渡し] E --> F[処理業者渡し] F --> G[埋立て] G --> H[再生] </pre>

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙1とおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別産業廃棄物の種類ごとに区分された仮置場の設置および保管容器を確保し、分別回収している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別産業廃棄物の種類ごとに区分された仮置場の設置および保管容器を確保し、分別回収する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	_____ t	_____ t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	_____ t	_____ t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	_____ t	_____ t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	_____ t	_____ t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分 を行なった 特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	—— t	—— t
	——		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	—— t	—— t
	——		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

		【目標】	
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
②計画	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

		【前年度（28年度実績）】								
産業廃棄物の種類	廃油 (特管)	強酸 (特管)	廃加剤 (特管)	感染性廃棄物 (特管)	廃石綿等 (特管)	汚泥 (特管)	小計			
①現状	排出量	2.48	34.09	56.35	0.10	0.00	0.03	93.05		
<p>(これまでに実施した取組の組み)</p> <p>薬品タンクの開放点検時期を考慮した薬品類の補充を行い、廃棄物発生量の抑制を図っている。</p>										
		【目標】								
産業廃棄物の種類	廃油 (特管)	強酸 (特管)	廃加剤 (特管)	感染性廃棄物 (特管)	廃石綿等 (特管)	汚泥 (特管)	小計			
②計画	排出量	1.12	35.94	48.19	0.03	5.56	0.01	90.86		
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>薬品タンクの開放点検時期を考慮した薬品類の補充を行い、廃棄物発生量の抑制を図る。</p>										

【前年度（28年度実績）】									
産業廃棄物の種類	廃油 (特管)	強酸 (特管)	廃加剤 (特管)	感染性廃 棄物(特 管)	廃石棉等 (特管)	汚泥 (特管)	小 計		
全処理委託量	2.48	34.09	56.35	0.10	0.00	0.03	93.05		
優良認定処理業者への 処理委託量							0.0		
再生利用業者への処理 委託量	2.48	34.09	56.35	0.10	0.00	0.03	93.05		
認定熱回収業者への処 理委託量							0.0		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							0.0		
(これまでに実施した取組の組み) 薬品タンクの開放点検時期を考慮した薬品類の補充を行い、廃棄物発生量の抑制を図っている。									
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃油 (特管)	強酸 (特管)	廃加剤 (特管)	感染性廃 棄物(特 管)	廃石棉等 (特管)	汚泥 (特管)	小 計		
全処理委託量	1.12	35.94	48.19	0.03	5.56	0.01	90.86		
優良認定処理業者への 処理委託量							0.00		
再生利用業者への処理 委託量	1.12	35.94	48.19	0.03	5.56	0.01	90.86		
認定熱回収業者への処 理委託量							0.0		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							0.0		
(今後実施する予定の取組) 薬品タンクの開放点検時期を考慮した薬品類の補充を行い、廃棄物発生量の抑制を図る。									
①現状									
②計画									